

職員提案(改善報告)褒賞対象

褒賞	標題	改善前のやり方	改善後のやり方・改善後の効果
最優秀賞	浄水管理センターの水質日常試験から発生する廃塩化銀の有効活用について	<p>浄水管理センターの水質日常試験においてCOD(化学的酸素要求量)の分析を週5日実施しています。COD分析は、有機性汚濁の指標となるもので、短時間で分析が可能なことから、浄水管理センターの排水を常時監視する上で重要な分析です。</p> <p>CODの分析では、薬品として硝酸銀を使用し分析を行います。分析終了後の廃液には銀が含まれるため、廃液に食塩を添加し、廃塩化銀にした状態で数年保管をしていました。保管していた理由としては、廃塩化銀の状態では産業廃棄物として処理する方法しかなく、県内で処分する業者が限られており、処分費も排出量と比較すると高額となるため廃棄をせず、保管していました。</p> <p>また、近年の薬品の高騰により、現在、硝酸銀(500g)が1本当たり109,450円(税込)であり、年間、約6本使用することから硝酸銀の購入費だけでも656,700円(109,450円×6本)の経費がかかります。</p>	<p>近年の銀の高騰により、薬品購入の経費が年々高額となっていることから、薬品業者等に安価で購入できる方法等はないか相談したところ、廃塩化銀を再生化できる手法があることを知り、今年度、廃塩化銀再生加工委託業務を行いました。</p> <p>この委託業務は、COD分析において発生する廃塩化銀について、銀のみを取り出し、精製を行い、硝酸銀に再加工する業務です。契約金額は、407,000円でした。委託業務結果は、受注者に廃塩化銀を11.88kg引き渡し、硝酸銀11.2216kg再生することができました。再生した硝酸銀は、500gビンで約22本納入されました。</p> <p>再生した量の硝酸銀を購入したとすると現在の価格で約241万円かかり、委託業務の経費(407,000円)を差し引いても約200万円の硝酸銀の購入経費削減ができ、1本当たり18,500円で購入できたことと言えます。また、硝酸銀は年間、約6本使用することから今年度から向こう約4年間は、硝酸銀を購入しないでCODの分析が行えることとなります。</p> <p>今回の委託業務は、近年の硝酸銀の購入費と比較してもかなり安価であり、今後の経済情勢から見ても銀が高騰する傾向にあることから、市況に左右されないで硝酸銀を調達する手法を確立することができました。</p> <p>また、SDGsの目標12「つくる責任、つかう責任(天然資源を持続的に管理し、効率よく使えるようにする)」に該当する取り組みとなることから今後も実施していくべき事業と言えます。</p>

職員提案(改善報告)褒賞対象

褒賞	標題	改善前のやり方	改善後のやり方・改善後の効果
優秀賞	物品貸出を電子化・無人化!!!	<p>パソコンやタブレット等の物品の貸出について、これまでは、「借りる職員が紙の貸出簿に記載→借りる職員からデジタル推進課職員に声かけ→デジタル推進課職員が借りる職員に貸出物品を引き渡す」という運用でした。デジタル推進課の職員は貸出依頼に声がかかる度に本来業務の手を止めて貸出対応をすることになります。そのため、集中力の低下や進捗管理がしにくい等の事務効率の低下に繋がっていました。また、コスト面でも、物品貸出に「借りる職員」と「デジタル推進課職員」の2人分のコストが発生しており、デジタル推進課職員に関しては、本来業務と貸出業務とのタスク切替えに伴う進捗状況の再確認にも隠れたコストが発生していました。</p>	<p>Excelのバーコード作成やマクロ等の機能を活用し、貸出管理を電子化するExcelツールを作成しました。貸出時間や返却時間は現在時刻を取得し、職員番号の入力を必須にすることで貸出管理簿としても機能しています。また、貸出物品の保管場所や案内方法を見直すことで、貸出対応の無人化も同時に実現しました。</p> <p>このツールで集計した年間の貸出件数は約2,100件であり、デジタル推進課職員は貸出し及び返却の対応にそれぞれ3分程度を要していたことから、年間210時間の業務削減効果となりました。</p> <p>そのほかにも、プリンタナーの交換記録や作業棟1階のカット室の鍵の貸出し等についても、このツールで一括管理しています。</p>
優秀賞	RPAによる入力作業の自動化	<p>特別徴収に係る異動届出書および市県民税申告書について、提出されたものをシステムに入力する必要があるが、職員が入力していた。</p>	<p>RPAを導入し、入力を自動化することで、最大、月1000件程度の入力時間を削減することができ、別の業務を行うことができています。(1件当たり約2分程度⇒30時間程度削減)</p>
奨励賞	中学校卒業証書の契印廃止及び証書ホルダー一括発注	<p>中学校卒業証書作成において、卒業証書と学校が保管する卒業証書授与台帳が一連のもので、公式な文書であることを証明するため、各学校で毎年度約1,300名分の契印を押印していた。</p> <p>また、卒業証書を入れる証書ホルダーは、各学校において別々の業者へ、異なるサイズのを発注していた。</p>	<p>木の紙の卒業証書導入を機に、卒業証書の内容をデジタル化し、卒業証書に係る卒業生情報をデータ上で管理することになった。</p> <p>これに合わせ、卒業証書の契印を廃止するとともに、証書ホルダーを教育委員会で一括発注することとした。</p> <p>その結果、各学校で実施していた1,300名分の押印作業や、各学校における証書ホルダー発注業務の作業時間を削減することができた。また、学校で異なっていた、卒業証書等を全市で統一することができた。</p>

職員提案(改善報告)褒賞対象

褒賞	標題	改善前のやり方	改善後のやり方・改善後の効果
奨励賞	ドローン活用による鳥獣農作物被害対策調査へのGIS活用	鳥獣による農作物被害対策として、ドローンにより潜み場となる荒廃農地の位置や獣道の状況などの集落環境調査を実施しているが、地図の作成は委託業務による実施であったため高コストとなっていた。	既存地図についてはGISデータに置き換えつつ、集落環境調査は所有ドローンを活用して情報収集し、GISデータに落とし込む運用としたことで、直営による実施が可能となった。 これにより委託費用が皆減となり、印刷費用のみとすることができた。
奨励賞	手数料負担の削減について	ガス事業者への支払は、請求書に基づき、原則口座振込で支払っていた。	ガス事業者から8月下旬に通知があり、今後も口座振込で支払う場合、10月以降の請求書発行分から、請求書1件あたり330円(税込)の発行手数料が発生することになった。 このため、新たに支払用の専用口座を開設し、この口座に資金前渡で資金を振り込み口座振替する対応策を立案し、短期間で、各課に口座振替依頼書の作成や資金前渡の方法を示した依頼を行い、全庁分を取りまとめてガス事業者への口座振替申込みを行うなど、迅速な対応を行った。 これにより、今後の支払手数料について月8,600円程軽減する効果が出る。
奨励賞	財政上有利な市債(地方債)の活用	施設等を整備する際、財源として活用できる市債については、様々なメニューがあり、その一部は国から財政支援を受けることができる。 そのため、より有利な市債を活用することが重要であるが、そのほとんどを財政課の職員のみが検討していた。	【改善策】 予算編成事務説明会において、新たに「地方債の基本的事項」と市債のメニューと国の財政支援を一覧にした「地方債早見表」を用意することとした。 【効果・狙い】 事業の詳細が分かる担当課の職員だからこそ考えられる、より有利な市債の活用を促すことができる。 また、その結果、財政支援の大きいものであると、整備費用の70%を国から支援してもらえるため、実質的な市の負担は30%程度に抑えることができ、大きな財政効果が見込まれる。
奨励賞	障害支援区分認定調査をケースワーカーに依頼	区分認定審査会の当日において、委員が対象者の気になることや特記事項や選択肢の是非について協議していたため、時間がかかっていた。	委員に対し、確認事項や指摘事項等を事前に担当へ報告してもらうよう依頼したところ、担当としても、調査員に前もって確認することができたとともに、審査会において協議すべきところをより明確にすることができたことで、審査会の時間削減(以前は2時間~2時間30分ほどであったが、現在は1時間30分ほどに短縮)につながった。